

世田谷区立赤堤小学校
校長 小宮 豊 様

令和6年度 赤堤小学校 学校関係者評価報告書

令和7年2月21日
世田谷区立赤堤小学校
学校関係者評価委員会
委員長 角田 保

赤堤小学校5・6年生児童、全児童保護者、及び地域の皆様からのアンケート結果をもとに学校関係者評価委員会にて検討を重ねた結果、以下の様に報告いたします。

目次

1	赤堤小学校関係者及び地域の皆様へ	1
2	調査の概要	2
3	各質問項目の結果とその評価	3
4	総評(保護者自由記述・教員ヒアリング・校長ヒアリングを中心に)	10

1 赤堤小学校関係者及び地域の皆様へ

赤堤小学校5・6年生児童、全児童保護者、及び地域の皆様には、お忙しい中「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。今年度もそのアンケートに基づいて、本報告書を校長先生に提出することができました。深く感謝申し上げます。

このアンケートは、世田谷区の全ての小学校の共通の設問と、赤堤小学校の独自の設問から成っています。1「学習指導について」から11「学校の安全性について」までが前者で、12「その他(赤堤小学校独自の質問項目)」が後者です。

本報告書が、赤堤小学校での教育環境がさらに充実するための一助となることを願っています。

2 調査の概要

1. 実施日 (Web アンケート受付期間)

児童・保護者・地域とも 令和6年11月1日～11月15日

2. 調査票回収状況

		依頼数	回答数	回答率 (%)
児童	5年	93	98*	105.4*
	6年	76	73	96.1
児童計		169	171*	101.2*
保護者	1年	82	49	59.8
	2年	81	42	51.9
	3年	87	55	63.2
	4年	89	52	58.4
	5年	93	53	57.0
	6年	76	50	65.8
保護者計		508	301	59.3
地域		52	30	57.7

(※注)Web アンケートのため、重複回答があったと考えられる。

3. 結果表の記号の説明

ABCDEの順に、「とても思う」「思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」とし、結果表の数字には $(A+B)/(A+B+C+D)$ を % 表記して載せています。その他の記号については以下です。

記号	概要	説明
◎	満足度が目標に達している	$(A+B)/(A+B+C+D)$ が 80 % 以上の項目
○	満足度が目標までもう少し	上記比率が 60 % 以上の項目
△	満足度がやや低い	上記比率が 60 % 未満の項目
▼	「わからない」が多い項目	E/回答数 が 20 % 以上
na	設問無し	

3 各質問項目の結果とその評価

3.1 学習指導について

		(%)	R6	R5	R4
児童	(1) 学ぶことが楽しい	83.9	◎	na	na
	(2) 先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	94.6	◎	◎	◎
	(3) 先生は黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	93.2	◎	◎	◎
	(4) 授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	93.5	◎	◎	◎
	(5) 先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	91.1	◎	◎	◎
保護者	(1) 本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。	90.4	◎	◎	◎
	(2) 本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	85.8	◎	◎	○
	(3) 本校は、子どもが考えたことを話しあったり発表し合ったりする機会がある。	96.1	◎	◎	◎
	(4) 本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	87.7	◎	◎	◎

- 昨年度に引き続き、児童、保護者ともに高い評価となっています。
- 保護者(2)(3)は児童より低めですが、これは学校公開で見ただけでは全てを把握することはできないため、分からない部分が多いからと思われる。

3.2 生活指導について

		(%)	R6	R5	R4
児童	(1) 私は、学校のきまりを守って行動している。	89.7	◎	◎	◎
	(2) 学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。	91.0	◎	◎	◎
	(3) 先生に注意されたことは、理解できる。	91.5	◎	◎	◎
保護者	(1) 本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	88.3	◎	◎	◎
	(2) 本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。	90.3	◎	◎	◎
地域	(1) 通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	96.7	◎	◎	◎

- 児童は学校生活におけるルールを理解し、守ろうという意識が高くなっております。
- 地域の方からは昨年度よりも高い評価を得ております。引き続き地域の方、保護者、学校が一体となって登下校を見守っていくことが大切でしょう。

3.3 学校行事について

	(%)	R6	R5	R4
児童	(1) 学校行事は、楽しい。	95.9	◎	◎
	(2) 学校行事は、達成感がある。	91.0	◎	◎
	(3) 先生は、児童の意欲を大切にしている。	91.5	◎	◎
保護者	(1) 学校行事は、子どもにとって楽しい。	96.7	◎	◎
	(2) 学校行事は、子どもにとって達成感がある。	97.3	◎	◎
	(3) 本校は、子どもの意欲を大切にしている。	97.2	◎	◎
地域	(1) 学校行事の内容は充実している。	90.0	◎	◎
	(2) 事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある。	73.3	○	○

- 児童・保護者共に行事は楽しいという高評価となっております。
- 地域の方々へは行事へのご理解とご協力をいただけるよう、引き続き連携を大切にしたいと思います。

3.4 キャリア教育について

	(%)	R6	R5	R4
児童	(1) 自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	77.5	○	○
	(2) 目標をもち、その実現に向けて努力している。	82.0	◎	◎
	(3) 区立中学校に関する情報が提供されている。	53.5	△▼	○▼
保護者	(1) 本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	87.7	◎	◎
	(2) 本校では、子どもの生き方や将来のことについて考える授業がある。	75.7	○▼	○▼

- 「キャリアパスポート」等を使用して子どもの生き方や将来について考える時間を作り、その目標に向かって努力する大切さを教えていることが数字から見て取れます。
- 児童(3)の区立中学校に関する情報提供への評価は、例年通り低いままです。機会を作ることが双方で難しい現状もあるとは思いますが、現在の部活動の体験等にプラスして何か可能な取り組みがあるかどうか、まずは学校間で協議するなど、児童が認識できるような交流になることを期待します。
- 保護者(1)(2)の評価がどちらも上がっているのは、学校公開がコロナ禍を経て制限がなくなり、公開中であればいつでも見ることができるようになった影響も感じられます。例年、ゲストを招いての授業や職業体験等が行われているので、引き続き、保護者への情報発信の工夫が必要となるでしょう。

3.5 教職員について

		(%)	R6	R5	R4
児童	(1) 先生たちは、ていねいに指導してくれる。	96.4	◎	◎	◎
	(2) 先生たちに相談できる。	75.9	○	◎	○
保護者	(1) 本校は、丁寧指導している。	93.1	◎	◎	◎
	(2) 本校は、子どものことを相談しやすい。	89.7	◎	◎	◎

- (1) については児童、保護者ともに引き続き高い評価となっています。
- (2) については、児童の昨年度より少々低下したようです。高学年ということもあり、自分で問題解決を図ろうとしているのかもしれませんが、相談しやすい雰囲気を維持して頂けることを期待します。

3.6 全般について

		(%)	R6	R5	R4
児童	(1) 学校生活は楽しい。	92.3	◎	◎	◎
	(2) 学校が好き	88.6	◎	◎	○
	(3) 私は、家庭で宿題やeラーニングでの学習をしている。	67.3	○	◎	◎
	(4) 私は、塾で学習をしている。	76.2	○	○	○
	(5) 学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	38.9	△▼	△▼	△▼
保護者	(1) 本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	92.8	◎	◎	◎
	(2) 子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	65.4	○	○	○
	(3) 本校は、近隣の(幼)・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	72.1	○▼	○▼	○▼
	(4) 本校の教育活動に満足している。	89.6	◎	◎	◎
	(5) 子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	83.5	◎	◎	◎

- 児童(1)(2)では90%近い児童が「学校がたのしい」「学校がすき」と回答しており、保護者(1)においても高い回答でした。引き続き、楽しい学校生活を過ごせる学び舎であることを期待します。
- 児童(3)については、昨年度よりも大きく下回ってしまいました。eラーニングを活用した自主的な学習の期待を望まれます。

3.7 学校からの情報提供について

	(%)	R6	R5	R4
保護者	(1) 本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。	95.3	◎	◎ ◎
	(2) 「学び舎」の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている。	62.7	○▼	○ △▼
	(3) 本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	97.6	◎	◎ ◎
	(4) 本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。	96.9	◎	◎ ◎
地域	(1) 学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる。	90.0	◎	◎ ◎
	(2) 「学び舎」の活動について、十分な情報提供がされている。	56.7	△	○ ○
	(3) 学校公開や道徳授業地区講座などで学校の様子が分かる。	70.0	○	◎▼ ○
	(4) 学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	73.3	○	◎ ○▼

- 定期的に学校公開や保護者会が開かれており、様子を知ることができると高評価を得ています。
- 学校ホームページをご覧になっている方も多いので、今後も様子が分かることを期待しております。

3.8 学校運営について

	(%)	R6	R5	R4
保護者	(1) 本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	92.3	◎	◎ ◎
	(2) 校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	96.8	◎	◎ ◎
地域	(1) 学校の重点目標が明確である。	83.3	◎	◎ ◎
	(2) 地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	63.3	○▼	◎ ○

- 保護者(1)(2)共に高い評価となっています。学校の重点目標が大きく知れ渡っている様子が伺えます。
- 地域(2)は、昨年度に比べ大きく下がってしまっております。地域の方との交流が増え、連携が増えていくことを期待します。
- 学校・保護者・地域の協力により子どもたちの学校生活がより豊かになることを期待します。

3.9 家庭と学校の連携について

	(%)	R6	R5	R4	
保護者	(1) 私は、学校公開にすすんで参加している。	94.3	◎	◎	◎
	(2) 私は、学校行事、PTA や地域主催の行事にすすんで参加している。	70.2	○	○	○
	(3) 私は、今年度の学校重点目標を理解している。	78.1	○	○	○

- (2)(3) ともにわずかですが高くなりました。学校行事や地域行事がコロナ禍前のように動くという認識が定着してきたことが関係していると思われます。引き続き保護者の参加が進んでいくことを期待します。

3.10 地域との連携について

	(%)	R6	R5	R4	
保護者	(1) 本校は、地域の人材や施設を教育活動に活かしている。	90.9	◎	◎	◎
	(2) 本校は、地域の活動などに協力的である。	92.1	◎	◎	◎
	(3) 本校は、地域に情報を提供している。	90.8	◎▼	◎	◎
地域	(1) 地域の人や施設を教育活動に活かしている。	83.3	◎	◎	○
	(2) 学校協議会や合同協議会が役割を果たしている。	56.7	△	○	○
	(3) 学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	66.7	○	◎▼	○

- 保護者からの回答は高い評価となっています。ふれあいサンデーなどのイベントなど、地域とのつながりのイベントが評価されているようです。
- 地域 (2) において、昨年度に比べ大きく下がってしまいました。学校協議会や合同協議会の活動を地域にしっかりと周知していき、役割を理解していく必要があります。

3.11 学校の安全性について

	(%)	R6	R5	R4	
保護者	(1) 学校は、安全な学校づくりを進めている。	96.8	◎	◎	◎
	(2) 本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	99.0	◎	◎	◎
	(3) 本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	91.6	◎	◎	◎
地域	(1) 学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	90.0	◎	◎	◎
	(2) 本校は、安全性を高めようと、積極的に地域と協力している。	90.0	◎	◎	○

- 保護者からの項目は非常に高い評価を維持しています。
- 地域からの評価も非常に高い評価を得ていますが、昨年よりやや下がったのは、地域から学校への期待の高さが数字に現れているのでしょう。
- 引き続き、地域と共に安心・安全な学校運営をお願いします。

3.12 その他 (赤堤小学校独自の質問項目)

	(%)	R6	R5	R4	
児童	(1) 授業で自分の考えをすすんで話したり、書いたりしている。	75.1	○	◎	○
	(2) 本を読むことが好きである。	77.0	○	○	◎
	(3) 自分やクラスが立てためあての達成に向けて協力している。	89.2	◎	◎	◎
	(4) 友達を大切にしている。	98.2	◎	◎	◎
	(5) 友達といっしょに運動することは楽しい。	94.5	◎	◎	◎
	(6) 自分にはよいところがある。	85.5	◎	◎	○
	(7) 自分のことが好きである。	73.7	○	○	○
	(8) 地域の行事に参加したいと思う。	57.8	△	○	△
	(9) 家族とあいさつをしている。	87.3	◎	◎	◎
	(10) 友達や先生・主事さんにあいさつしている。	98.2	◎	◎	◎
保護者	(1) 子どもたちは、授業で自分の考えを進んで話したり、書いたりしている。	91.3	◎	◎	◎
	(2) 子どもたちは、本を読むことが好きである。	76.5	○	○	○
	(3) 子どもたちには、相手を思いやる心が育っている。	90.9	◎	◎	◎
	(4) 子どもたちは、友達を大切にしている。	98.2	◎	◎	◎
	(5) 子どもたちは、友達といっしょに楽しく運動している。	95.8	◎	◎	◎
	(6) 子どもは、自己肯定感をもっている。	86.8	◎	◎	◎
	(7) わたしは、地域の行事に協力したり、参加したりしている。	60.6	○	○	△
	(8) 家庭内であいさつをかわしている。	84.8	◎	◎	◎
	(9) 子どもたちは、友達や職員にあいさつをしている。	93.0	◎	◎	◎

- 独自項目のアンケートの項目は、基本的に以下の基本方針に従った内容です。
 1. 基本方針1 分かり易く興味深い学習指導の実施 (知育)
 2. 基本方針2 集団づくりを通して仲間と協働する教育活動の推進 (徳育)
 3. 基本方針3 健やかな体づくりの推進 (体育)
 4. 基本方針4 個性や能力、発達の段階に応じた組織的な指導の推進 (特別支援教域)
 5. 基本方針5 保護者、地域をパートナーとした教育活動の推進 (家庭・地域との連携)
 これらと、あいさつに関するアンケートについてまとめたものが、次ページになります。

- 基本方針 1 について

基本方針 1 に対応するアンケートの項目は、児童の項目 (1)、項目 (2)、保護者の項目 (1) 及び項目 (2) です。児童の項目 (1) は、「満足度が目標に達している (◎)」から「満足度が目標までもう少し (○)」に評価を下げています。校長ヒアリングでは、主体性は高まっているものの、とりあえずやってみようという意識が少し低下している可能性があるとのことでした。近年、失敗したくない子が増えているとの報道を目にすることが増えました。失敗により学ぶことも多いと思います。小さな失敗を許容し、その失敗から学べる環境作りが学校でも家庭でも必要であると思われます。また児童の項目 (2) は、「◎」の評価を得ており、対応する保護者の項目 (2) よりも良い評価となっています。本が好きな児童が多いとの見解は、昨年と同様でした。保護者の評価が引き続き低いことについては、昨年の指摘と同様に、タブレットによる読書なのか動画の視聴なのか区別が付き難いことが影響しているようです。読解力の向上には読書は欠かせませんから、引き続き学校と保護者とが協力して児童が読書に取り組みやすい環境を作って頂けたらと考えます。

- 基本方針 2 について

基本方針 2 に対応するアンケートの項目は、児童の項目 (3)、項目 (4)、保護者の項目 (3) 及び項目 (4) です。児童の項目 (3) 及び項目 (4) は、非常に高い評価を維持しています。また関連する保護者の項目 (3) 及び項目 (4) は、児童と同様に、非常に高い評価を維持しています。先生方や保護者の努力により、基本方針 2 の成果が現れているのではないかと考えています。

- 基本方針 3 について

基本方針 3 に対応するアンケートの項目は、児童の項目 (5)、及び保護者の項目 (5) です。児童の項目 (5)、及び保護者の項目 (5) は、引き続き高い評価を得ています。今後、中高の部活動が民間委託になり、運動する機会が減る傾向にあると考えられます。そんな中、小学校での運動は貴重な機会となります。継続した取り組みをお願いします。

- 基本方針 4 について

基本方針 4 に対応するアンケートの項目は、児童の項目 (6)、項目 (7)、及び保護者の項目 (6) です。児童の項目 (6)、項目 (7)、及び保護者の項目 (6) は、特に自己肯定感に関する項目であり、児童で評価が低く、保護者で評価が高い傾向が続いています。昨年度は、児童の項目 (6) に改善の兆しが見えたのですが少し下がったようです。

先生方の自己評価報告書では、概ね個に応じた指導を実施することができたと評価しつつも不登校児に対するさらにきめ細やかな支援について改善の余地があると評価しています。働き方改革の中、今後できることはますます限られるので、保護者、時には地域の手を借りながら共に課題に取り組んでいけたらと考えます。

- 基本方針 5 について

基本方針 5 に対応するアンケートの項目は、児童の項目 (8)、及び保護者の項目 (7) です。児童の項目 (8)、及び保護者の項目 (7) は、昨年と比べて評価が低くなっています。赤堤小は、避難所としての機能を有し、その避難所を運営するのは、先生方ではなく、主に地域の人たちです。避難所運営の際、スムーズに連携が取れるよう、保護者、学校及び地域が普段からコミュニケーションを取れるよう期待します。

- あいさつについて

児童の項目 (9)、項目 (10)、保護者の項目 (8) 及び項目 (9) は、あいさつに関する項目です。いずれの項目も「◎」の非常に高い評価を得ています。継続した取り組みを学校や家庭でお願いします。

4 総評 (保護者自由記述・教員ヒアリング・校長ヒアリングを中心に)

本委員会では、アンケート結果の解釈のみでなく、教員ヒアリング(12月下旬)と校長ヒアリング(1月下旬)を行っています。本節では、これらのヒアリングを含めた総評を行います。

自由記述からは、先生方の労働環境(残業や育休など)の心配をする意見が多く見受けられました。昨今の小学校教員の負担の大きさを知る人や心配する人が多いことは、保護者の方々の情報収集能力や他人との共感性が高いことを示しています。実に素晴らしいと言えるでしょう。校長ヒアリングでは、様々な形で各先生方への負担・残業が少なくなるように工夫しており、また来年度も工夫するとのことでした。

IT(タブレット)に関しては、保護者からの好意的な意見が、昨年度に比べてかなり増えました。校長ヒアリングでは、ミニ研修会を年間で10数回行ったとのことでした。内容としては、毎回持ち回りでそれぞれの先生方が講師になって、約15分間で成功や失敗談の共有をしているとのことでした。この研修がよい効果を生んでいることは間違いありません。また、教員ヒアリングでは、学級閉鎖時には、勉強ゲームのクイズを先生方が作って子どもが自宅で自習できたという話や、理科や体育で生徒の動画を撮ることによって、客観的に生徒自身の姿を見ることができて教育効果が高まったという意見もありました。このように、タブレットの長所が生かされる場面が随所にあったようです。自宅でyoutubeばかり見ている子どももいるという短所もありますが、学校内教育においては、タブレットを利用した教育は長所の方が短所を上回るようです。

赤堤小学校では、以前から読書を重視してきました。ですが、昨年度同様に、独自項目(3.12節)の結果は良いものではありませんでした。教員ヒアリングでも校長ヒアリングでも、読書など本に親しむための方策はかなり行っている様子がうかがえます。また「図書に触れる時間も、他の小学校よりも多くとっている」とのことでしたので、学校としてはこれ以上の対応は難しいかも知れません。そうするとこれ以上に本に親しむためには、各家庭の努力が必要になるかも知れません。負担が少なく気軽に親しむには、経堂図書館を上手く利用するとよいのではという意見が、委員・先生の両方からありました。駅から徒歩1分とアクセスもよく、蔵書も紙芝居から大学生向けの本まで幅広く、また他の世田谷区立図書館の本も取り寄せることができます。参考になれば幸いです。

子ども自身の主体性に関する児童アンケート(5・6年生)では評価が低かったので、教員ヒアリングで聞いてみたところ、全体としては主体的な態度が向上しているとのことでした。教員ヒアリングでこのような意見を聞くことができ、多少安堵しました。この項目については保護者アンケートの評価も高かったため、子どもから見た自己評価と、大人から見た客観的評価の違いがあるかも知れません。

なお、毎年のごことではありますが、このように自由記述でいただいた意見などを参考にして、教員ヒアリング・校長ヒアリングを行っています。保護者の皆様におかれましては、アンケートの自由記述欄でもご意見をいただければ幸いです。

以上